

**施策体系シート(行政経営Bシート)**

作成者	組織	国際観光課	職	課長	氏名	北口 義一
評価者	組織	国際観光課	職	課長	氏名	北口 義一

	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	海外誘客の促進	外国人宿泊客数	人	1,000,000 (R7)	7,873 (R3)	75,206 (R4)	C

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題							課題に対する主な取り組み				評価		
施策	課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性	
					(年度)	(年度)							
施策1	課題1	魅力ある滞在コンテンツの造成	外国人宿泊客数	人	1,000,000 (R7)	7,873 (R3)	75,206 (R4)	1:ほっと石川観光プラン推進ファンド事業 資金貸付金	外国人観光客	13,000	4,000	B	継続
	課題2	本県観光魅力の効果的発信による認知 度向上	外国人宿泊客数	人	1,000,000 (R7)	7,873 (R3)	75,206 (R4)	2:海外誘客情報発信事業費	外国人観光客	66,850	75,410	B	見直し
	課題3	外国人受入環境の充実	外国人宿泊客数	人	1,000,000 (R7)	7,873 (R3)	75,206 (R4)	3:海外誘客受地整備事業費	外国人観光客	6,280	6,800	B	継続

※人数については暦年の数値である

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	ほっと石川観光プラン推進ファンド事業資金貸付金	事業開始年度	H28	事業終了予定年度	
		根拠法令・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作	組	織	国際観光課		
成	職・氏名	主任主事 中嶋 広			
者	電話番号	076 - 225 - 1124 内線 3969			

1 目 的	平成28年3月に策定された「ほっと石川観光プラン2016」に基づき、(公社)石川県観光連盟が実施する海外誘客促進事業の円滑な実施のために資金繰りに必要な資金の貸し付けを行う。
2 事業内容	<p><b>【外国人旅行者のニーズに応じた受け地の魅力づくり】 11,000千円</b></p> <p>(1)外国人のニーズに精通した専門家による観光素材の磨き上げ              県内の観光事業者を対象に、外国人の多様なニーズに精通した専門家による観光素材の磨き上げを行う</p> <p>内容:①セミナーの開催              各市場のニーズ、他県の事例等を紹介              ②専門家を活用した磨き上げ              市場ニーズに精通した専門家を派遣              ③ガイドの育成              座学・実地研修の実施              ④旅行会社の招へい              造成した観光素材のさらなるブラッシュアップ</p> <p>(2)報奨旅行誘致に向けた特別感のある体験プログラムの開発              海外企業による報奨旅行の誘致拡大を図るため、特別感のある食事場所や体験等を組み合わせた魅力ある滞在プログラムの開発に取り組む</p> <p>内容:①ニーズ調査              今後、報奨旅行実施企業に求められるニーズの調査              ②滞在プログラム開発・商品化              県内素材を洗い出し、候補となるプログラムを再現・専門家により検証を行い、商品化</p> <p><b>【メディア・旅行会社と連携した情報発信】 2,000千円</b>              国内外メディア等の県内視察に対し、県内滞在費等の費用について一部負担</p> <p>予定件数:台湾・韓国・中国・香港 6件              東南アジア 4件              欧米豪 10件 計20件</p>

施策・課題の状況						
施策	海外誘客の促進	評価	C			
課題	魅力ある滞在コンテンツの造成					
	指標	外国人宿泊者数	単位	人		
	目標値	現状値				
	令和7年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1,000,000	683,862	767,270	97,244	7,873	75,206
事業費						
	(単位:千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算	22,000	7,300	7,500	5,000	13,000
	決算	22,000	7,300	7,500	5,000	4,000
一般	予算	0	0	0	0	0
財源	決算	0	0	0	0	0
事業費累計		81,500	88,800	96,300	101,300	105,300
評価						
	項目	評価	左記の評価の理由			
	事業の有効性	B	新型コロナウイルス感染症により、海外からの入国が制限されていたため、本事業の成果指標である外国人宿泊者数は75,206人に留まったが、インバウンド再開を見据え、県内の観光事業者を対象に、外国人旅行者のニーズに対応した観光素材の磨き上げとしてセミナー等を実施した(2回延べ54事業者)。			
	今後の方向性	継続	北陸新幹線の県内全線開業や大阪・関西万博を見据えた誘客体制を強化するため、外国人旅行者のニーズに対応した観光素材の磨き上げとして、①市場ニーズに精通した専門家の派遣、②ガイドの育成、③旅行会社の招へいを通じた観光素材のさらなるブラッシュアップを新たに実施する。			

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b> 海外誘客情報発信事業費	<b>事業開始年度</b> H25	<b>事業終了予定年度</b>
	<b>根拠法令・計画等</b> ほっと石川観光プラン2016	

<b>作 組 織</b> 国際観光課
<b>成 職・氏名</b> 主任主事 中嶋 広
<b>者 電話番号</b> 076 - 225 - 1124 内線 3969

**1 目 的**  
海外からの誘客において重要な認知度向上を図るため、他県との連携により北陸新幹線を活用した新たなゴールデンルートの定着を図るとともに、国内在住メディアの招へいや、インターネット等を活用した情報発信、海外向けオンラインセミナーなど、本県観光魅力の効果的な発信を実施する。

**2 事業内容**

(1) 北陸新幹線を活用した新たなゴールデンルートの普及

- ① 北陸アーチパスを活用した情報発信
  - ・国内ランドオペレーター商談会、海外向け旅行会社向けオンラインセミナー等
- ② JR周遊きっぷ等を活用した周遊観光の促進
  - ・沿線各県との連携による国内在住メディア招へい

(2) 国や地域の特徴に応じた戦略的な海外誘客の推進

- ① 欧米豪誘客事業
  - ・欧州観光レップ・米国観光レップ・いしかわオセアニア観光特使の設置
  - ・国内ランドオペレーター招へい・広告掲載支援
  - ・インターネット動画サイト等(YouTube、SNS)を活用した情報発信 等
- ② 台湾誘客事業
  - ・SNSを活用した情報発信
  - ・国内在住メディアを活用した情報発信 等
- ③ 韓国誘客事業
  - ・国内在住メディアを活用した情報発信 等
- ④ 中国誘客事業
  - ・広域連携(福井、富山、長野)による国内在住メディア招へい及び現地情報サイト記事掲載
  - ・中国富裕層向け情報発信 等
- ⑤ 香港誘客事業
  - ・SNSを活用した情報発信
  - ・現地旅行イベント等を活用したPR 等
- ⑥ 東南アジア誘客事業
  - ・SNSや現地メディアを活用した情報発信(タイ)
  - ・富裕層向け情報発信(シンガポール) 等

施策・課題の状況						
<b>施策</b>	海外誘客の促進				<b>評価</b>	C
<b>課題</b>	本県観光魅力の効果的発信による認知度向上					
	<b>指標</b>	外国人宿泊者数			<b>単位</b>	人
	<b>目標値</b>	現状値				
	令和7年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1,000,000	683,862	767,270	97,244	7,873	75,206
事業費						
	<b>(単位:千円)</b>	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
<b>事業費</b>	予算	92,515	141,603	296,800	78,530	66,850
	決算	104,259	119,771	34,649	44,244	75,410
<b>一般</b>	予算	63,665	103,203	237,100	50,255	66,850
	決算	66,779	89,081	24,777	35,013	53,528
<b>事業費累計</b>		600,177	719,948	754,597	798,841	874,251
評価						
	<b>項目</b>	<b>評価</b>	<b>左記の評価の理由</b>			
	事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	新型コロナウイルス感染症により、海外からの入国が制限されていたため、本事業の成果指標である外国人宿泊者数は75,206人に留まったが、海外における本県の認知度向上のため、国内旅行会社等との商談会、(1回64社参加)、海外旅行会社向け商談会・オンラインセミナーを実施した(商談会:1回50社、セミナー:12社参加)。また、SNSやメディア等を活用して観光情報を発信した。			
	今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	見直し	北陸新幹線の県内全線開業や大阪・関西万博を見据えた海外誘客の促進を図るため、R5年度も引き続き、北陸新幹線を活用した新たなゴールデンルートの普及や国・地域の特徴に応じた戦略的な海外誘客の推進を目指し、旅行会社等との商談会の開催や、SNS・メディア等を活用した情報発信を行うとともに、令和4年10月に国が水際対策を大幅に緩和したことをうけ、旅行会社・メディアの招へい等の往来を伴う事業に重点をおいて取り組む。			

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 海外誘客受地整備事業費	事業開始年度 H25	事業終了予定年度
	根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016

作	組	織	国際観光課
成	職・氏名	主任主事 中嶋 広	
者	電話番号	076 - 225 - 1124 内線 3969	

**1 目 的**

外国人旅行者が、快適な県内観光を楽しめるよう、観光事業者、有識者とも連携しながら、情報の収集・分析にあたり、観光事業者に対して受け入れに関する意識啓発や、外国語ガイドを対象とした研修等を実施することにより、外国人旅行者の利便性及び満足度の向上を図る。

**2 事業内容**

(1) インバウンドセミナー等の開催  
 ①観光事業者向けセミナーの開催（金沢／加賀／能登 各1回）  
 ②インバウンド研究会の開催

(2) 外国語観光ガイドの育成  
 ガイドの技能・意識の向上と受け入れ体制強化のため、研修ツアーを実施（年2回）

(3) 調査事業  
 ①外国人受入環境整備事業状況調査  
 ②外国人旅行者に対する動態調査

施策・課題の状況						
施策	海外誘客の促進	評価	C			
課題	外国人受入環境の充実					
	指標	外国人宿泊者数	単位	人		
	目標値	現状値				
	令和7年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1,000,000	683,862	767,270	97,244	7,873	75,206

事業費						
	(単位:千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算	4,450	15,660	76,000	4,600	6,280
	決算	7,383	13,470	54,804	2,935	6,800
一般	予算	4,450	14,160	65,500	4,600	6,280
	決算	5,383	12,230	52,394	2,935	5,585
事業費累計		49,443	62,913	117,717	122,317	129,117

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	新型コロナウイルス感染症により、海外からの入国が制限されていたため、本事業の成果指標である外国人宿泊者数は75,206人に留まったが、今後のインバウンドの回復を見据え、インバウンドセミナー(1回75人)、インバウンド研究会(2回35人参加)、受入環境調査を実施し、今後の受入体制の充実に努めた。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	北陸新幹線の全線開業や大阪・関西万博を見据え、受入体制の充実に努めるため、令和5年度も引き続きインバウンドセミナー等を通して、県内事業者に対する意識啓発や、インバウンド誘客に資する情報発信を実施するとともに、外国語観光ガイドの育成の実施等に取り組む。